

はじめに

痔は、症状がある人だけでも成人の半数以上いるといわれているほど、誰でも経験することのある疾患です。そもそも「痔」とは何でしょうか？身近にあるけれども、恥ずかしさからなかなか人に相談することもできないので、「痔」のことをしっかりと理解されている方は少ないのではないのでしょうか？「痔」とは肛門の病気の総称で、主なものに「痔核（いぼ痔）」「裂肛（切れ痔）」「痔ろう」の3つがあります。

痔核（いぼ痔）

「痔核」とは肛門にいぼ状の膨らみができた状態で、痔のなかで最も多いタイプです。内痔核と外痔核の2種類があります。肛門内部のものが内痔核、肛門の出口付近のものが外痔核です。

内痔核にはもともと、肛門をふんわりと閉じるクッションとしての生理的な役割があるのですが、これが大きくなってくると、いきんだりしたときに、肛門外にいぼ（内痔核）が脱出してしまい、不快な感覚がでてきます。また内痔核は静脈瘤という、いわば血管のかたまりなので、出血がみられることもあります。出血などの症状は軟膏でほとんどよくなりませんが、排便時に脱出して指を使って押し戻すようになると、薬では元の状態に戻すことが期待できない

ため、手術をお勧めします。

もうひとつの外痔核、とくに血栓性外痔核は、強いいきんだり、冷えなどが誘引となり、肛門の出口付近の毛細血管が破綻し、血マメができ、痛みを伴います。ほとんどは軟膏などを使うことにより、血栓は徐々に小さくなっていき、手術しなくても治ります。

裂肛

「切れ痔」と呼ばれる病気で、便秘となり硬い便が無理に通過したり、下痢のため勢いよく便が出ることで、肛門の出口付近が切れた状態のことです。排便時に痛みを感じ、出血もみられますが、通常、出血は紙につく程度で、多くはありません。ひどくなると痛みは排便の時だけでなく、排便後にも続くのが特徴です。切れたばかりの状態であれば、軟膏や便秘薬で治りますが、放置してしまつと慢性化して治りにくくなり、慢性裂肛になると、傷が深くなり周囲が腫れてきて、肛門皮膚の部分がかたんだように膨らんでしまつたり（これを「皮垂」と呼びます）、肛門の奥の部分でポリープができることがあります。さらに、慢性裂肛が長年にわたり持続した状態になると、肛門が狭くなり、薬だけでは治りづらくなります。

痔ろう

痔ろうは、肛門陰窩という小さなくぼみ（肛門上皮と直腸粘膜との境目に存在しています）から便が入り込むことで起こります。下痢などをして肛門陰窩から便が入り込んでしまつと、肛門陰窩につながる肛門腺（粘液を出す役割をもっています）が感染を起こして膿瘍を形成するようになり、こうなると、肛門周囲が腫れ上がり、激しい痛みを伴うようになってしまう。たまたま膿をメスなどで切開し外に出してあげると症状は楽になりますが、肛門の内と外がつながった膿のトンネルが出来上がってしまいます。この状態が「痔ろう」です。痔ろうは薬では治らないので、原則として手術治療が必要となります。

最後に

痔にならないようにするには、便秘や下痢にならないよう排便習慣を改善することが大切です。そのためには、食物繊維を積極的にとる、腸の動きを活発にするために、朝食はきちんととり、適度な運動をするように努めます。また排便時に強いいきまない、トイレに長居しないことも重要なポイントです。冷えはダメで、腰やおしりを冷やさないようにします。シャワーよりも、入浴して十分あたためるようにしましょう。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)
8	2	朝霞 村山クリニック	内・循内	471-1636	新座 梅沢皮フ科クリニック	皮		042-472-5118
	9	新座 中村クリニック	内・小・皮・リハ	478-1327	志木 眼科龍雲堂医院	眼		471-0200
	16	志木 はんだ内科クリニック	内・消内・循内・小	486-2327	和光 和光駅前クリニック	外・内・小・整外・消内・肛・リハ		460-3466
	23	新座 高橋医院	内・小	478-2689	朝霞 大城胃腸科外科医院	消内・外・皮		463-1575
	30	朝霞 北朝霞駅前クリニック	内	486-6333	新座 永弘クリニック	泌・内・外		474-3708



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。